

第27回 日本学校教育相談学会 九州・沖縄地区研修会「宮崎大会」(ご案内)

1 大会テーマ

「心によりそい未来へ育む 学校教育相談」

～ 一人一人の課題に即した未来志向の具体的支援を通して ～

2 目的

(1) 学校教育相談学会会員相互の研修と情報交換を行い、会員の資質の向上を図る。

(2) 各支部の研修活動を充実させることで、学校教育相談の普及・発展を図る。

3 主催

日本学校教育相談学会九州・沖縄地区連絡協議会 日本学校教育相談学会 宮崎県支部

4 後援

宮崎県教育委員会 宮崎市教育委員会 財団法人 日本教育公務員弘済会 宮崎県支部

5 期日

2021年11月13日(土)・14日(日)

6 実施方法

Zoomによるオンライン研修会

7 参加費

2日間参加 2,000円 1日間参加 1,000円

8 日程と研修内容

【第1日目 11月13日(土)】

11:00	12:00	13:00	13:30	16:30
理事長会	受付	開会行事	分科会(ワークショップ)	

A 分科会(宮崎大学教授 戸ヶ崎泰子) 定員30名

「インクルーシブ教育システム構築に向けて、私たちの取り組むべきこと」

限局性学習症、注意欠如多動症、自閉スペクトラム症などの発達障害のある児童生徒は、学習面や人間関係面の困難を抱えています。また、そういった様々な困難の背景に障害特性があることを理解してもらえずに、叱責などの否定的な対応を受けるために自己評価が著しく低下し、不登校などの学校不適応やメンタルヘルス不調などの二次障害に陥ることもあります。特別支援教育の本格開始から10年を超えた現在、「発達障害」についての学校関係者の理解は進んできました。その理解は、インクルーシブ教育システム構築の実現や児童生徒への合理的配慮の提供などの具体的な教育実践につなげていかななくてはなりません。

本講義では、現在の特別支援教育の課題を整理しながら、発達障害等の特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校適応をどのように支え、インクルーシブ教育システム構築に向けてどのような取り組みが必要なのかについて、会場みなさんと一緒に考えたいと思います。

B 分科会(宮崎大学教授 境 泉洋) 定員30名

「認知行動療法を活用した教育相談」

教育相談については、児童生徒はもとより、教師、保護者との連携も重要となります。認知行動療法には様々な技法がありますが、本分科会では、教育相談に活用しやすい技法を中心に紹介します。具体的な技法の前提として、認知行動療法の基礎理論についても紹介します。基礎理論の中では、正の強化の概念を正確に理解することが役に立つため、この点について解説します。

基礎理論を踏まえて、具体的な技法をいくつか紹介します。児童生徒向けの技法としては、質問紙によるアセスメント、認知再構成法、行動活性化、社会的スキル訓練があります。また、教師、保護者との連携において活用しやすい技法として、行動的家族支援の一つである、コミュニティー強化と

家族訓練（CRAFT）を紹介します。

これらの講義を通して、日々の教育相談に認知行動法を活用する理論的背景と実際について学んでもらえればと考えています。

C 分科会（ 公認心理師 元公立学校養護教諭 宮内英里子 ） 定員 30名

「児童生徒や保護者の悩みに応える、学級担任や養護教諭の教育相談のポイント」

授業中に落ち着きがない、気に入らないことがあると隠れる、固まる、何回指導しても同じことを繰り返す、朝になると身体症状を訴えて登校をしぶる、保健室に行きたがる、ゲーム中心の生活、朝が起きられない、なかなか寝付けない、登校しぶりがある、すぐにキレる、友だちに手が出る、教師に反抗的、自傷行為がある、感覚過敏がある、など、「何かうまくいかない」子どもがいます。

本講義では、「何かうまくいかない子ども」はなぜうまくいかないのか、ほめても叱っても効果なしのタイプの子どもの、どうアプローチするのか、学級担任や養護教諭が行えば効果的なことは何なのか、またそのような子どもの保護者に、子どもの実態を伝えるコツ、敵対せずに協同するコツなどについて、参加の先生方と一緒に考えてみたいと思います。

【第2日目 11月14日（日）】

9:00	9:30		11:30	11:40
受付	全体会	パネルディスカッション	閉会行事	

パネルディスカッション

「緊急時の学校支援はどうあればよいか」

コーディネーター	宮崎国際大学教授	安東末廣
パネリスト	SC 元県立学校長	後藤徹一
	会員 元公立中学校長	甲斐義教
	SC 公認心理師	高野美智子

発達途上の児童生徒が集い交流し合う学校は、知識を身に付ける学習の場であるとともに、切磋琢磨し競い合う鍛錬の場でもあり、かつ人間関係を学び合う場でもあります。それぞれが属する家庭の考え方、生き方を持ち込み、個性を出し合いながら、一日一日が過ぎていきます。心や体の成長期にある子どもたちは、自分の未来をまさぐりつつ、同時に今の自分に希望を見いだせないまま、悩みを深めていく、そういう時期でもあります。学習や進路問題、交友関係、家庭内の問題、クラブ活動や部活動その他、それぞれが解決を求めながら、もたえ苦しむ姿を散見します。学習不振や不登校、不適正な交友、家出、あるいは身近な人の死、自然災害などに直面した子どもたちを、学校をどう支援したらよいか。今回のコロナ禍は、こうした課題を一層浮き彫りにしました。学校はどう対応すればよいか、そして、子どもや保護者、学校を支える立場にある私たちはどうすればよいか、パネリストの事例を基にしながら、皆さんと考えてみたいと思います。

9 参加申し込み要領

研修会に参加をご希望の方は、QRコードから申し込んでください。

申込期間は、8月1日～9月30日です。

申し込みフォームにて受付後、参加費の納入口座をメールにてお知らせいたします。納入が確認できた時点で、申し込みが完了となります。

なお、1日目の分科会は定員がありますので、第2希望、第3希望への変更があることをご了承ください。また、定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。



お問い合わせ

日本学校教育相談学会 宮崎県支部 事務局（米良栄州）

TEL 0985-28-9410

宮崎県支部HP <https://kyoiku-soudan-gakkai-miyazaki.jimdosite.com/>

